日本共産党

質問者　鈴木　明子
柴田　博

質問時間45分

福祉・子育てで市の対応を

◆高齢者の負担軽減を

問　高齢者の税負担が増し、国保、介護保険料なども負担増となった。介護保険の激変緩和後は2倍以上になる人もいる。①生活保護基準に近い人の負担軽減は。②施設入居や「デイ」利用での住居費、食費が保険外となった。制度上の救済措置のない「デイ」の食費への市独自の減免対策は。③均等割り課税に移行したため介護予防支援のタクシー券が使えなくなる高齢者の救済をすべきと思うが。

答　①については境界層措置で低い段階の負担を適用している。②デイサービス・デイケアには食費の補足給付制度がない。制度通りの対応をしていく。③高齢者世帯のタクシー利用助成券は18年度対象者の10%が税制改正に伴い対象外となるが来年度に向け研究していく。

◆高齢者医療制度について

問　後期高齢者医療制度の平成20年度からの実施で年金からの天引きとなる。引き落とせない時はどうなるか。短期証、資格者証の発行は行うのか。

答　介護、医療合せて年金額の半分以上になる場合は納付書による納付となる。資格者証などの認定は広域本部が行うが、報告等の内容は市として精査していく。老人世帯に対し、十分考慮した対応を行う。

◆6ヵ月未満の入所受け入れを

問　産休明け保育の必要性が高まっている。0歳児の受け入れを6ヵ月からとしている点を見直す考えは。

柔軟な子育て支援を（宗賀中央保育園）

答　労働環境の変化は事実で、要望も増えている。産休明けからの対応は周辺自治体の民間保育施設の広域入所も含め考える。市保育園での対応は保育士の配置、設備など検討していく。子どものためにどうするか保護者と相談し対応していく。

◆有料化は慎重に

問　児童クラブ利用有料化は慎重にすべきだ。「子どもの居場所事業」は存続を。

答　他市では有料にしているところもあるが、国の放課後子どもプランとの兼ね合いを含め検討。土・日は「居場所作り」で対応していく。

新和会

質問者　伊藤　秀文
中原　輝明

質問時間45分

未来に向け悔いのない形を

◆市内のいじめ問題等は

問　全国各地の学校においていじめ、自殺、虐待などの事件が発生しているが、当市での対応はどうしているか。

答　小中学校生徒のアンケート結果で約10%程度の生徒について、なんらかの心配があるので十分な対応をしていきたい。

◆当り前の形で

問　楢川小学校の校名変更問題は、教育委員会主導とし将来に悔いのない形として欲しいと思うが、できるなら現状のままで何ら不都合はないと思うが、どう対応するのか。

答　地元にもいろいろな考え方があるので、十分協議をして対応していきたい。

◆壁式構造は不具合

問　(仮)市民交流センター建設の基本設計は発注者が主人公であるので、50年100年悔いのない物を造る為には設計士の為に造るのではなく市民が納得できる形、いわゆる壁式構造でなくラーメン構造とすべきと思うが、どうか。

答　設計士の理念も尊重したい。

◆塩尻駅前の顔は

問　塩尻駅前東側一帯の用途地域見直しはいつ頃できるか。

答　平成20年度には都市計画変更決定をしたい。

◆早期退職なぜか

問　平成16～18年度、定年を待たずに退職してしまう課長級職員が多くみられるが、どうしてか、更には、心の病による長期休暇者も多数いるとのことだが、原因はどこにあると考えるか。

答　各々個々の問題であり、一概にどうとは言えない。

◆期待される体育施設

問　県下各地に県営野球場があるが、唯一中信地区には無い状況を踏まえ、当市の所有する人材育成エリアに誘致をし、併せて市立体育館、陸上競技場など都市公園整備事業を中長期的な計画で建設したらどうか。県大会、全国大会更には大学や実業団等の利用もされれば市の活性化にもつながるものと思うが。

答　SNRの利活用の検討、市県の事業主体や財政状況等から困難と考える。

閉校する楢川小学校